【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-243676(P2010-243676A)
【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2010-043
【出願番号】特願2009-90566(P2009-90566)
【国際特許分類】
*Ｇ０９Ｆ　13/18　(2006.01)*
*Ｆ２１Ｖ　8/00　(2006.01)*
*Ｇ０２Ｂ　6/00　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｆ　1/16　(2006.01)*
*Ｆ２１Ｙ 101/02　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　13/18　Ｚ
Ｆ２１Ｖ　8/00　３１０
Ｇ０２Ｂ　6/00　３３１
Ｇ０６Ｆ　1/00　３１２Ｚ
Ｆ２１Ｙ 101:02

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月28日(2012.3.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電子機器の外面の一部を構成する外面パネルと、
前記外面パネルの縁に沿って延びる延伸部を含む導光部材と、
前記導光部材に光を入射する光源と、を備え、
前記延伸部は、その延伸方向に沿った外面として、前記外面パネルの表面に対して起立するように配置される発光面と、前記発光面とは反対側の面である背面と、前記発光面と前記背面とが対向する方向に対して垂直な方向に向いた、互いに対向する２面と、を含み、
前記光源は、その光が前記延伸部の前記２面で反射しながら前記延伸部内をその延伸方向に進むように配置され、
前記延伸部の前記背面は、前記２面が対向する方向に対して斜めに交差する傾斜面を含む、
ことを特徴とする電子機器。
【請求項２】
請求項１に記載の電子機器において、
前記傾斜面は、前記延伸部の延伸方向に沿って伸びるよう形成され、前記傾斜面の傾斜度は、前記延伸方向における位置に応じて変化している、
ことを特徴とする電子機器。
【請求項３】
請求項１に記載の電子機器において、
前記外面パネルには、前記電子機器を操作するための操作部が設けられている、

ことを特徴とする電子機器。
【請求項４】
請求項１又は３に記載の電子機器において、
前記電子機器の外面を構成するハウジングをさらに有し、
前記ハウジングには、可搬型の記憶媒体を挿入するための開口が形成され、
前記延伸部は前記開口に沿って伸びている、
ことを特徴とする電子機器。
【請求項５】
請求項１に記載の電子機器において、
前記導光部材は、前記光源の光が入射する入射部を有し、
前記延伸部は前記入射部から伸びるように形成されている、
ことを特徴とする電子機器。
【請求項６】
請求項５に記載の電子機器において、
前記入射部は、記発光面と当該背面とが向き合う方向と、前記延伸部の延伸方向の双方に垂直な方向から前記光源の光が入射するように配置されている、
ことを特徴とする電子機器。
【請求項７】
請求項１に記載の電子機器において、
前記延伸部は前記電子機器の外面に沿って湾曲した湾曲部を有し、
前記傾斜面は前記湾曲部に形成されている、
ことを特徴とする電子機器。